

(様式3)

事業所名 グループホーム かつら

目標達成計画

作成日: 平成 25年 3月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	個人記録(日誌)の内容がサービス計画に伴っておらず毎日に変化のない記述になっている	日誌をケアプランに沿った内容で記載できる様式に変更する等で、記録する側読む側が利用者各自のサービス内容を理解しやすく、支援内容の反省ができる	担当が記録の取り方セミナーへ参加し記載方法について学び、ホームの日誌に反映できるように指導改善を行う	3ヶ月
2	13	職員が少ないこともあり業務が慣れ合いのマンネリ傾向にある。ひとつひとつの業務にプロとしての自覚をもって取り組む姿勢が欲しい	職員各自が現在の環境に甘んじることなく、積極的にセミナーや研修会へ参加し、福祉の専門職としてのスキル向上に努める	職員間で業務姿勢について互いが注意し合える雰囲気を作り、定期的に自己評価を行い全体で反省を行う。研修へ参加した後は報告書を作成し何を学び何を共有しなければならぬかを文章にて職員へ周知させる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。